

平成 30 年 10 月 1 日

公益社団法人 全国産業資源循環連合会 御中

国土交通省自動車局整備課

大型車車輪脱落事故防止における啓発活動への協力依頼について

平素は、国土交通行政へのご理解、ご協力を賜りまして、ありがとうございます。

交通事故の発生状況等は依然として厳しいものがあり、中でも、大型自動車については、依然として車輪脱落事故が多発しております。

このため、国土交通省では、自動車関係団体と協力して 2006 年より「大型車車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施し、車輪脱落事故防止に努めております。

大型車の車輪脱落事故は、特に冬用タイヤへのはきかえ時期に発生することが多いことから、毎年冬期期間中での啓発活動を強化しております。つきましては、本取組の趣旨にご賛同いただき、ポスター掲載による啓発活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

—問い合わせ先—

国土交通省自動車局整備課 児島、伊堂寺

電 話：03-5253-8599

FAX：03-5253-1639



# 大型車の車輪脱落は許さない。

大型車に関わる私たちプロの使命です。



## 重大事故を未然に防ごう!

タイヤ・ホイールは、しっかり点検、正しく整備。



**1 規定のトルクで  
確実な締付けを**

規定の締付けトルク

締付け方式には、球面座で締付けるJIS方式と平面座で締付けるISO方式があります。「規定の締付けトルク」で確実に締付けます。  
※ホイールナットの締付け不足、締め忘れ防止のため、ナット締付け作業時(締め後)、「規定の締付けトルク」で確実に締付けたことを確認するよう、お願いします。

**2 50~100km走行後は  
しっかり増し締めを**

締付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下、50~100km走行後を目安に、増し締めしてください。

正しい増し締め方法を確認してください。

**3 一日一回の  
日常点検を**

運行前にホイールボルト、ナットを目で見てきざわって高熱してご注意ください。異常を発見したらすぐ整備工場へ。

とくに、慌が付きにくい左後輪は、重点的に点検を!

**4 ホイールに適した  
ボルト、ナットを**

スチールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合するホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ずご確認ください。

※JIS方式では、アルミホイール(スチール)用のホイールボルト、ナットで、スチールホイール(アルミ)は履き替え時、ISO方式では、スチールホイール用ホイールボルトで、アルミホイールは履き替え時

### 車輪脱落を防ぐ4つのポイント

詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ  
<http://www.jama.or.jp/user/>

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会

